

# 2022年度 スクールソーシャルワーク全国実践研究集会

## ～アセスメントガイドブックの帳票を活用して～

学校教育法施行規則の一部を改正する省令において「スクールソーシャルワーカー」が明記され、「児童生徒の教育相談の充実について」の通知で具体的なスクールソーシャルワーカーの職務が示されています。

文部科学省では、子どもの貧困対策として、スクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた検討が行われています。また、厚生労働省では、地域共生社会の実現に向けて、学校と市区町村のつなぎ役としてスクールソーシャルワーカーの役割が期待されています。

日本社会福祉士会では、2020年10月に「社会福祉士の倫理綱領、行動規範」「子どもの権利条約」「平成28年改正児童福祉法」を共通基盤として、スクールソーシャルワーカーが身につけ、教育と福祉を包摂した視点で活動できることを目的に『スクールソーシャルワーク実践ガイドライン』を作成し、本会のホームページ等で公開しました。

その上で、広く子ども家庭福祉に関わる方々に帳票（アセスメントシート）を活用し、自らの実践の振り返りと向上に寄与できるよう、(株)中央法規出版から『学校—家庭—地域をつなぐ 子ども家庭支援アセスメントガイドブック』（2022年12月）を発刊するに至りました。

今年度の本研究集会では、その『学校—家庭—地域をつなぐ 子ども家庭支援アセスメントガイドブック』をテキストとして使用し、活用や実践のあり方について、実践報告やシンポジウムをとおして深め、示唆を得ることを目的に開催します。

1. 開催日時：2023年2月19日（日）
2. 実施方法：Zoomによるオンライン形式（予定）
3. プログラム（予定）：

時 間		内 容
9:00～9:30	30分	オリエンテーション、開会挨拶
9:30～10:20	50分	行政説明：生徒指導提要の改定をめぐるポイントと社会福祉士への期待（仮） 講師：文部科学省初等中等教育局児童生徒課（予定）
10:20～10:30	10分	休憩
10:30～11:30	60分	講義：いじめ防止対策とスクールソーシャルワーカーの役割 講師：鈴木 庸裕 氏（日本福祉大学教授）
11:30～11:40	10分	休憩
11:40～12:40	60分	実践報告：“ヤングケアラー”と向き合って 講師：平川 悦子 氏（静岡県社会福祉士会）
12:40～13:40	60分	昼食休憩
13:40～15:20	100分	シンポジウム：アセスメントガイドブックの帳票を活用して コーディネーター：清水 剛志 氏（富山県社会福祉士会） コメンテーター：坂口 繁治 氏（岩手県社会福祉士会） シンポジスト：後藤 久美 氏（静岡県社会福祉士会） 後藤 みか 氏（大分県社会福祉士会） 藤澤 茜 氏（香川県社会福祉士会）
15:20～15:30	10分	閉会

4. 参加対象：社会福祉士、教職員、教育行政、児童福祉関係者、スクールソーシャルワークに関心がある者等
5. 定 員：180名（先着順）
6. 参加費：参加費：都道府県社会福祉士会の会員 2,000円 会員以外 3,000円
7. テキスト：本研修の受講にあたっては、各自にて『学校—家庭—地域をつなぐ 子ども家庭支援アセスメントガイドブック』（中央法規出版、日本社会福祉士会編纂、2022年12月発行予定、価格未定）をご用意ください。

\*参考 (株)中央法規出版ホームページ

<https://www.chuohoki.co.jp/>



8. **申込方法** : 下記のQRコードまたはURLから、本研究集会の申込フォームにアクセスしていただき、必要事項をご入力の上、お申し込みください。

〈URL〉

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=oard-lctete-789d8798a111144fca90d3f88a3db1a0>

〈QRコード〉



8. **申込締切** : 2023年1月5日(木) (先着順)

9. **参加可否** : 参加の可否は、1月末までに、ご登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡します。併せて、参加費の納入方法、キャンセルの扱い等についてもご案内します。

※参加申し込みが少ない場合は、開催しないことがあります。

10. **研修単位** : 全てのプログラムを修了することで、生涯研修制度の単位として、生涯研修制度独自の研修・実績の4.5時間分となります。

11. **留意事項** : ・本研究集会の参加には、PCまたはスマートフォン等の機器と、インターネットに接続できる環境が必要です。〈参加に必要な機材の例〉は以下のとおりです。マイク及びカメラがない場合でも参加可能ですが、質問等がある場合に対応いたしかねますので、予めご承知置きください。

〈参加に必要な機材の例〉 ※以下のいずれかを満たしていることが必要です。

- ・内蔵または外付けカメラ+WindowsPC (Windows8.1 または 10)
  - ・内蔵または外付けカメラ+Mac (OS10.13 以降)
  - ・内蔵カメラ+iPad (iOS12 または iPadOS)
  - ・内蔵カメラ+タブレット (Android7 以降)
  - ・内蔵カメラ+スマートフォン
  - ・現在は所有していないが、研修までに購入する予定
- ・インターネット環境も各自で準備ください。通信料等は各自の負担になります。なお、使用する機器や各種契約により、通信料が高額になる場合も想定されますので、予め確認してください。
- ・本研究集会では、Zoom ウェビナーを使用しますので、事前に Zoom アプリをダウンロードしてください。Zoom アプリをダウンロードしたら、接続テストを行うことを推奨します。
- なお、本研究集会の受講だけであれば、Zoom アカウントの取得 (サインアップ) は不要です。
- 〈Zoom テスト用 URL : <https://zoom.us/test>〉
- ・自然災害の発生等により、本研究集会を中止することがあります。本研究集会が中止となった場合は、参加費の返金を行います。
  - ・通信環境・通信機器等の原因により、当日参加できない場合の返金は、対応いたしかねますので、予めご承知置きください。
  - ・申し込みされた個人情報は、本研究集会の運営以外の目的には使用しません。

12. **主 催** : (公社) 日本社会福祉士会

13. **後 援** : 文部科学省

14. **問合せ先** : (公社) 日本社会福祉士会 生涯研修センター (開局時間 : 月~金曜日 10 : 15~16 : 15)

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-13 カタオカビル 2F

[TEL:03-3355-6541](tel:03-3355-6541)

e-mail : [kenshu-center@jacsw.or.jp](mailto:kenshu-center@jacsw.or.jp)